

公民館通信



2023年
4・5月号
No.307

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491



公民館は、今年

50周年を
迎えます。

(写真：多摩市所蔵) かつての多摩市公民館

多摩市の公民館は、これまでの50年と変わらず、これからも皆さんの学びを支え続けます。



現在の永山公民館



現在の関戸公民館

～みなさんの「つどい」や「まなび」を応援し、つながりを「むすぶ」機会をお届けし続けます～

多摩市の公民館は、社会教育の中心的施設として昭和48年(1974年)に開館し、市民の皆さんの自主的な学習や文化活動の一翼を担ってきました。

平成9年(1997年)には永山駅前に永山公民館が、平成11年(1999年)には聖蹟桜ヶ丘駅前に関戸公民館が移転・開館し、時代や社会情勢に即した事業を展開しています。

～多摩市デジタルアーカイブ～

表紙の多摩市立公民館の写真は、図書館ホームページの多摩市デジタルアーカイブに掲載されているものです。多摩地域の歴史研究、学習にお役立てください。

<https://adeac.jp/lib-city-tama/top/>

★スマートフォン、タブレットは
こちらからご覧いただけます。⇒



・・・図書館も開館50年です！！・・・

今年度多摩市公民館ではこのような事業を行う予定です！

永山公民館

「つどう・まなぶ・むすぶ」
駅前公民館にどうぞお越し
ください！



学校・家庭教育支援事業

子育て支援講座

子育ての悩みを共有できる場作りとして継続した学びの機会を設け、さらには親同士の交流へとつながるような場を提供していきます。



学校や地域と連携した事業

公民館施設を活用したりイベントなどの場を通じて児童・生徒の学習成果を紹介するなど、地域に子どもたちの様子を伝えていきます。

子育てつどいの広場「ぴーかぶー」(原則第2・4木曜日)

保育室開放デー(原則第3月曜日)

館内の保育室を開放し、子育てに関する情報提供や、乳幼児期の親子が気軽に交流できる場を提供します。



小学生対象科学等体験講座

夏休みや春休みに子どもたちや親子が参加できるような体験型講座を実施し、世代を越えた交流や視野を広めるきっかけを作ります。

家庭教育学級・講座

保護者に対して子育ての知識とともに、前向きに家庭教育に向き合えるような場を作り、家庭の教育力向上を目指していきます。

職場体験の受け入れ

地域・生活課題を考える事業

ベルブゼミ

地域課題を掘り起こし、継続した学習から、地域づくりや自分自身の生き方を考えるきっかけをつくりまます。

市民企画講座

市民の自主的な学習活動の振興を図るため、さまざまな学習の場を提供します
(内容は団体が企画します)。



地域課題講座

地域の生活課題を取り上げ、地域の方々と一緒に考える講座を、地域の拠点であるコミュニティーセンター等と共催していきます。



地域活性化事業

ふるさと多摩映画上映会
永山フェスティバル(9月23日～24日予定)
クリスマスイルミネーション など

さまざまな取り組みを通して地域を盛り上げます。



ボッチャ体験会



イルミネーション

※過去の取組の様子

市民・時事問題講座事業

障がい者青年教室

障がいを持つ青年を対象に、余暇活動や仲間作りを支援します。(ボランティア随時募集！)

時事・現代課題講座

その時々のテーマをタイムリーに捉え、さまざまな角度からの学習で知識を深めていきます。

市民講座

生活に身近なテーマを取り上げ、地域の豊かな生活に結び付けていく講座を開催していきます。



市民文化活動支援事業

市民が主体となって、出演・企画運営をする催しを、公民館が支援することで、気軽に音楽や映像文化などに触れる機会を作ります。

サロンライトコンサート
(6月～3月の第2土曜日)

TAMA映画フォーラム

☆第32回映画祭は11月11日～11月26日(予定)



情報発信事業

公民館通信「たのしいまち」の発行と広報等情報提供

永山公民館・関戸公民館2館の講座や各種情報を掲載した通信を年に6回発行します。市民ボランティアの編集委員とともに編集作業を行っています。また広報等でも事業の案内や募集、実施した講座の報告などを行います。

市民編集委員のお仲間募集中・・・公民館通信「たのしいまち」は、市民ボランティアと一緒に作っています。



関戸公民館



地域・生活課題を考える事業をはじめ、コンサート、演劇、地域イベントとのコラボレーションなどを計画しています。今年度はロビーの工事も終わるため、リニューアル後のロビーも活用します。

地域・生活課題を考える事業

地域貢献講座

地域課題を掘り起し、解決していく手法を学び、地域に根ざした活動につなげていくことをめざします。

第2回VITAふれあいまつり (第17回地域ふれあいフォーラム TAMA)

8月6日(日)開催予定。グループ・団体の交流、ふれあいで、大人も子どもも参加する新たな地域活動のきっかけとする広場。



地域ふれあいフォーラム

市民企画講座

市民の自主的な学習活動の振興を図るため、さまざまな学習の場を提供します(内容は団体が企画します)。

地域課題講座

地域の生活課題を取り上げ、地域の方々と一緒に考える講座をコミュニティセンターと共催。

市民・時事問題講座

社会時事問題講座「関戸地球大学院」

環境、貧困、経済・資源等の国際的な課題や、地域で起きていることなどから社会とどう関わっていくかを考えます。近隣の大学(大妻女子大学、恵泉女学園大学、多摩大学、東京医療学院大学、国土館大学、桜美林大学)との共催により開催。

市民講座 スマホサロン・スマホ相談会

日常生活を豊かにするために、スマホ操作や活用の初歩の初歩を学びます。また、わからないことを個別に相談できる機会を設けます。

現代課題講座

時事問題として環境や自殺対策などを広い視野で取り上げます。



茶道教室

郷土史講座

多摩の歴史をたどり、現地見学などで郷土についての知識を深めます。秋に開催。

伝承文化教室

伝承文化として茶華道などにふれる機会を設けます。

※P2、P3の内容等は変更になる場合があります。

地域活性化事業

せいせき桜まつり(4月)※ せいせき朝顔市(7月)
関連イベント



ヴィータコミュニネ外観

聖蹟桜ヶ丘駅周辺でのイベントとのコラボレーションで、にぎわいを作ります。寄席や、7階ロビー・8階ホールでのコンサートなどを開催しま

学校と家庭の教育支援

保育室開放デー(第1・第3水曜日)

館内の保育室を開放し、乳幼児期の親子が気軽に交流できる場を提供します。

子育て安心講座

思春期の子どもたちの成長にかかる課題などを考えます。

薬物乱用防止講座

危険な薬物から身を守ることを、中学生に伝えていきます。一般の方にも公開予定。

職場体験の受入れ

市内中学校の「職場体験」を受け入れ、地域とのかかわりを学び、将来の職業につながるよう支援をします。また、近隣大学の実習生の受入れも行っています。

市民文化活動支援

多摩演劇フェスティバル・たまには芝居

シリアス、喜劇、アクションなど7つの劇団のカラーをお楽しみください。

ヴィータマンスリーコンサート

様々なジャンルのコンサートを定期的に行ないます。7月までは工事のためお休み。

What's Jazz

本格的なジャズライブをお届けします。

たま学びテラス



日野市と多摩市の連携事業として令和5年度まで、ICTを活用し、市民交流や大学連携を進めます。

楽ちゃんの歩き倒すぞ！ With チャリンコ&ウォーク 「まちクエスト」を歩いてみた！ Vol.6



【再び多摩センター編3～桜舞い散る宝野公園へ～】

永山、多摩センター、聖蹟桜ヶ丘と次々にまちクエストを制覇して来たわけだが、さらに足を踏み入れた場所があった。多摩中央公園から宝野公園にかけて、実にクエストがボコボコと群立しているのだ。これは行って、この目で見て来なければ。しかも今、桜が満開で。クエストに出逢う前の私も、この全国的にも有名な桜の名所で、毎年、春の幸せをおすそ分けしてもらっていた。今年は風雨で開花時期が短かったし。行くなら今日しかない！

多摩センター駅から、多摩モノレール通りをまっすぐ南下する。すぐ、クロスガーデンの隣りに1つ目のクエストが。「消防水利」なに？ 何mかかって？何が？水道の蛇口らしきものや、なにやらスプリンクラーの送水口やら採水口やらが並んでいるが、消防水利だって？ コーナーを4往復ぐらいしたけど、何も見つからず。あっ、ちょっと待て、地べたばかり這いつくばっていたが、そこにいたか！ ついに見つけたぞ。ああ、なるほど。考えたな、クエスト。

道に沿ってさらに南下。「緑地」というクエストは楽勝♪「電話BOX」というクエストは、かわいらしい公衆電話が答えをいざなっていた。「みどりの協定斜面地」も難なくクリア。次のネーミングが「認定受けてますけど何か？」西落合小の前の道路だ。面白い。いったい何の認定を？ それがまた、探しても探しても、ないのだ。ここも4往復したけど、絶対ない！ このクエストに正解した人、教えて～。どこにあったの？ 何の認定を受けたのだ？

諦めて、歩道橋を上がる。この辺りは遊歩道が多く、車歩分離が徹底しているから散歩しやすいのだ。「風の橋のベンチの数は？」ふわふわ、たやすい。「落合算？」風の橋から見える団地の、落合〇-〇-〇を引き算せよ？ わあ、楽しい。まさか団地の住所を引き算するなんて♪ 例えば4-3-1ならゼロか。わくわくしながら、該当する団地をキョロキョロ探し、見つけた

時は思わずニッコリした。

次に、見つけるのに困難を極めたのが「そよ風の道と書かれた」…書かれた何なのだ。車道なのか、歩道橋の上と同じ高さの団地の一角なのか、見極めるのが難しい。しかし、場所さえ正確にたどり着けば、あっさりと見つかった。くじゃくかハトかすずめかホトトギスかって？ どう見てもこれに見えるよ。違ったらどうしよう。

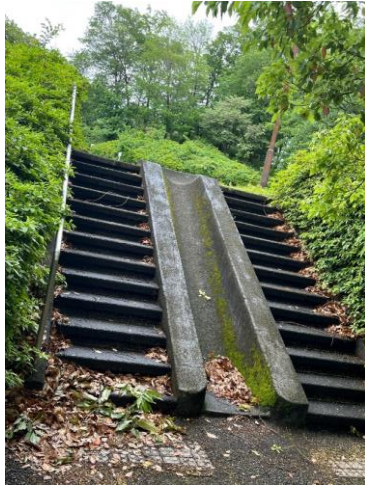
そして西落合小を後にすると、ほどなく、お目当ての宝野公園に出た。うわあ、ま、満開。降るような桜、桜の花たちが、惜しげもなく咲き誇っている。この世のものとは思えない、息を呑む美しさ。生きてよかった！ あと何回、これを見られるんだろう。そんなことを考えたくなるほど、広域に渡ってずーっと絶景が広がっていた。奈良原公園、鶴牧第2公園まで。神様、ありがとう♪ このクエストは「武蔵野音大パルナソス多摩」見たこともない太古の楽器も数多く展示されている。無料で見学できるので、是非とも訪れてほしい。コンサートホールも備える教育研究施設だ。わ～、こんなすごいものが、この多摩にあったなんて。自慢。



【多摩センター編4～青木葉へ～】

ああ、寄り道しすぎて、とっぴりと日が暮れてしまった。そのまま西落通りを北上すると「多摩市立図書館」ここの閲覧室は何階だって？ 北上すると「多摩アカデミーヒルズ」が。いわゆる「旧サンピア」である。三角屋根の明かり取りは何枚かって？ どれだろう。降参だ。続いて青木葉公園へ。ベンチはいくつ？ 楽勝だとたかをくくってたら、いくつもグラウンドが隣接してて、ありゃ、不正解。

青木葉神社へ。「素朴な神社」と書かれたクエストだ。そびえ立つ何十段もの階段の上に2つ目の鳥居があり、奥に再び階段が何十段も続く。ここまで来たら、登るっきゃない！ やっとたどり着き、お参りして、はて、クエストの答えは何処に？ ああ、最初の階段の途中にあった。



神社の次のクエストは「滑り台付き階段？」すぐ近くにあった。可愛い。可愛すぎる。階段と階段の間が、なんと滑り台になっているのだ。どちらから降りよう♪ おお、ここは、公園シリーズの時に訪れた、どんぐり山公園の入口ではないか。すっかり上機嫌で、最後に「恐竜橋」まで一気に南下した。この針金製の恐竜、多摩市内各所に潜んでいて、ユニークな姿で市民に愛嬌を振りまいてくれている。橋のシリーズの時にも、ここに来たっけ。アングルを変えて、写真を撮りまくる。可愛いなあ。問題にも軽くクリア。

こうして、主な多摩市内のクエストはざっくり廻った筆者であるが、まだまだ隠れたクエストがいっぱいあるので、読者の皆さんもぜひぜひ挑戦してほしい。多摩市のみならず、全国にこのクエスト制度はあるらしいのだ。不思議なことに、クエストに1問1問、正解して行くと、なぜか自分が認められて行くような感覚に陥った。そして、クエストの場所に興味がわき、さらに多摩市全体のことがどんどん愛しくなって行く自分がいた。クエスト作者の思うツボか？ まあいい、その策略にまんまとハマってあげよう。もっともっと多摩を好きにさせてくれ、クエスト。万感の感謝を持って、このシリーズを終えることにする。またどこかのクエストで会おう！



iPhone



Android

アプリのダウンロードは、左 QR コードから。

多摩市文庫連さんの本の紹介

『戦争をやめた人たち…1914年のクリスマス休戦…』



鈴木まもる 文・絵 あすなる書房 2022年
世界中を震撼させているロシアのウクライナ軍事進攻。街が破壊され多くの市民や兵士が命を落とし、子供達は死の恐怖に怯えています。この本は第一次世界大戦中ドイツ軍とイギリス軍との最前線で実際に起こった事をもとにしたお話です。

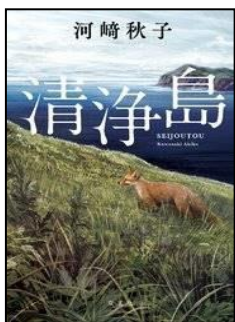
クリスマスの夜、戦場の兵士達は気づくのです。戦って国を大きくすることより、もっと大切な愛する家族や子供や仲間や故郷があることに。互いの兵士達は手を取り合い平和を願いました。それから何年かしてようやく戦争は終わります。

『戦争を始めるのも人だけれど、やめることができるのも人なのです。』

この本のメッセージが世界中の人々に伝わってほしいと思います。

多摩市文庫連絡協議会 なかよし文庫 有田悦子

『清浄島』



河崎秋子 著 双葉社 2022年
北海道北端の離島 自然豊かな美しい礼文島の話である。その昔、山火事で木々も草花もすっかり燃えつきた。人々は植樹をして美しい姿を取り戻そうとした。しかし、いくら植えても野ネズミに食いかじられ枯れてしまった。そこで野ネズミを撲滅すべく天敵のキツネを入れた。大正末期のことだった。昭和になって小樽に住む女性が、「エキノコックス病」と診断された。礼文島出身だった。その後も発症報告が続いた。なぜ礼文島出身者なのか、原因は何か。調査団が結成され、その先頭に立ち奮闘したのが動物学者の土橋義明だった。彼の取った方策で寄生虫の宿主は一掃された。清浄島宣言が出されたのは昭和45年8月。一部フィクションはあるが、実際に起きた奇病を撲滅すべく戦った人々の物語である。

多摩市文庫連絡協議会 和田明子

中央図書館へ! —永山の楽ちゃん—

コラム え・と・せ・と・ら



アウシュヴィッツ—いつか必ず行ってみたいと思って
いた場所である。コロナ禍も落ち着いてきた今春、女一
人旅でポーランド・ドイツを訪れた。

アウシュヴィッツ=ビルケナウ強制収容所は、第二次
世界大戦中に多くのユダヤ人が犠牲になったポーランド
最大の収容所である。ポーランド旧都のクラクフからバ
スで1時間ほど揺られて到着すると、まず私たちを出迎
えたのは「ARBEIT MACHT FREI(働けば自由になる)」と
刻まれた門だった。約80年前、収容者たちはこの言葉
にわずかな希望を抱いて門をくぐったに違いない。

収容所内を進むと、数々の写真展示があった。中には、
命懸けでガス室やドイツ兵を盗撮した、ピントがずれた
写真も。そして、収容者たちから押収された靴やかばん、
眼鏡が山積みになされた部屋へと進む。さらに進んだ大き
な部屋には、部屋一面にうずたかく積まれた髪の毛の山。
それを見て言葉を失った。数字だけではわからなかった
「100万人を超える犠牲」の重みが、胸に突き刺さる。
その他にも、多くが銃殺された「死の壁」、地面に穴が
並んでいるだけのトイレ、そしてガス室。ここでは10
0人以上が「効率よく」数十分間で殺された。

同強制収容所の日本人唯一の公認ガイドである中谷
剛さんのお話が忘れられない。まずは、民主主義がヒト
ラーという指導者を選んだということ。民主主義国家で
あり、第二次世界大戦中、ドイツの同盟国だった日本で
は決して他人事にしてはいけない歴史なのだ。そして、
よそ者に対して差別する心は誰でもどこにでも起こりう
るということ。LGBTQや障がい者、移民など、「自分と
は違うもの」に対して排除する心を、日々の生活の中で
私たちはもっていないだろうか。

第二次世界大戦中にドイツ軍によって9割以上の建
物が破壊されたが、見事に復元されたワルシャワ。冷戦
の象徴だった「壁」が28年間もあったベルリン。アウ
シュヴィッツの前後に訪れた地にも、人間が起こした悲
しみの歴史が詰まっていた。

同じ地球人として二度と悲劇を起こさないためにも、
まずは「興味をもつこと」「知ること」から始めたい。
「アウシュヴィッツは突然空から降ってきたわけではない」
のだから。

(ニーチェ)

編集後記

☆突然全く声が出ない。1週間は無声音。3週間
はガラガラ。意思が伝わらないと日常生活って成
り立たないと思ひ知る。さらに謎の腹痛が10日。
おかしい。重病か?しかし胃カメラも正常。奥歯
抜く。前歯また欠けて差し歯に。右目真っ赤。次々
襲う災難。嗚呼!

☆娘の誕生パーティーの記念写真。それを見た孫が
「2歳だね!」。確かに左手がVサインだった。(月)

☆多摩市に公民館(図書館も)ができて今年で50
年!この「たのしいまち」誌面でも色々紹介し
ていけたらなと思っています。お楽しみに!(あ)

☆開館50周年の節目に、約20年ぶりに戻ってまい
りました。これを運命と言わずして何と言おう!
たのしいまちともどもよろしくお願ひします。(ゆ)

たんとんとん
のびた
らがも
いつしか見慣れ
るくて
いさな背が愛おしい



